# 群馬、埼玉除きダンピングに抑止基準

## 関東甲信8県 総合評価の動向 =上=

## 問われる発注者の運用能力

## 技術力の明確な差別化が課題

総合評価方式の市区町村への拡大に建設業界の関心が高まる中、先行する関東甲信8県では、同方式に対する方針や取り組みを改善していこうとしている。同方式を実施する上で焦点となっていたダンピング（過度な安値受注）への対応策として、失格基準価格やそれに類似した価格面での対策で、取り組みに温度差が出ている一方、同方式を拡大する上で、入札手続き期間の短縮に対する業界の要望も強くなっている。現状の課題と今後の展開を探る。

失格基準価格の導入など、価格面でダンピングを抑止する基準を設定。長野、栃木、茨城の3県が失格基準価格、神奈川県が最低制限価格、千葉県が特別重点調査、山梨県が総合評価の落札決定基準を運用していると、評価項目の内容や配点の変更も必要とみている。分析、検証を進め、08年度から反映させたい考えだ。

工事成績評価を重視している長野県は、06年度まで同評価に対する配点が高く、工事成績が良ければ落札の可能性が高いという極端な見方もあったことから、07年度は、ほかの評価項目の価値を高めた。差別化を図ろうと、特定の評価項目の配点を高くしすぎると、落札できる業者がある程度、限定される懸念があり、運用の難しさが浮き彫りになっている。

簡易型でありながら、価格1位以外が落札する「逆転」が多い神奈川県では、07年度の試行を通して、「金額1位、技術評価1位、技術と金額が1位の業者が落札する案件が、それぞれ3分の1程度だった。バランスがおおむね良好」と分析している。

ただし、業界からは評価項目に対する要望が出ており、受発注者間に考え方の違いが生じている部分もある。

技術力評価の指標となる評価項目の設定、配点に対する関心が高まっている。これから、急速に件数が拡大する流れの中で、業者の評価に明確に差をつけるには、発注者の評価能力や責任が、より一層、求められることになりそうだ。

関東甲信8県の総合評価方式概要

| | 型式（加算点または技術点） | 計算手法 | 対象金額 | 評価結果の公表内容 | 手続き期間 | 備考、実施件数など |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 神奈川県 | 簡（20）、標、高。簡のみ試行 | 除算 | 5,000万円以上 | 入札金額、技術評価点、評価値、評価項目別点数 | 55日程度 | 県土整備部は06年度に1件、07年度は20件目標 |
| 山梨県 | 簡（10－30、基本は10）、標（20－40、基本は20）、高（40－60点、基本は40）。簡、標を試行 | 除算 | 3,000万円以上など（一般競争入札） | 入札金額、技術評価点、評価値、評価項目別点数 | 40日程度 | 06年度は1件、07年度は120件弱を予定 |
| 千葉県 | 特簡（20）、簡（20）、標、高。特簡、簡を実施 | 除算 | 原則5,000万円以上 | 入札金額、技術評価点、評価値 | 50－60日程度 | 県土整備部は06年度に15件、07年度は70件程度を予定 |
| 茨城県 | 簡（20－30）、標（30－50）、高。簡、標を試行 | 除算 | なし（試行中のため） | 入札金額、技術評価点、評価値、評価項目別点数 | 60日程度 | 土木部は06年度に15件、07年度は50件程度を予定 |
| 埼玉県 | 簡・施工計画なし（20以内で設定）、簡・施工計画あり（30以内で設定）、標（40以内で設定） | 除算<br>加算（20件試行） | なし。目安として1,000万円以上3,000万円未満（簡・施工計画なし）、3,000万円以上5,000万円未満（簡）、5,000万円以上（標） | 入札金額、技術評価点、評価値 | 12－23日（簡）、17－28日（標） | 県土整備部と都市整備部で06年度は115件、07年度は150件目標。このほか農林部、企業局などで試行。 |
| 栃木県 | 簡（10－20、07年度は20のみ実施）、標（40） | 加算（簡）<br>除算（標） | 5,000万円以上 | 入札金額、技術評価点、評価値、評価項目別点数 | 21－31日（土日含む） | 06年度は土木部（現・県土整備部）で36件、07年度は県土整備部で70件以上目標。このほか環境森林部、農政部で試行。 |
| 群馬県 | 簡・施工計画なし（12）、簡・施工計画あり（15）、標（20） | 加算 | 1億円未満（簡・施工計画なし）、1億円以上（簡・施工計画あり）橋梁上部（標） | 入札金額、技術評価点、評価値、評価項目別点数 | 1カ月程度 | 06年度は23件。07年度は県土整備部、環境森林部、農業部で70件を予定。このほか企業局、住宅供給公社で試行。 |
| 長野県 | 提（25－30）、成（8－18）、実（7－12）。07年度は成のみ実施 | 加算 | なし。工事内容に応じて総合評価の実施を判断 | 入札金額、価格点、価格以外の評価点（技術評価点）、評価値、評価項目別点数 | 38日（成、実）、46日（提） | 06年度は190件、07年度は約600件目標（10月末現在で315件開札済み）。 |

＊型式の簡は簡易型、標は標準型、高は高度技術提案型、特簡は特別簡易型、提は技術等提案型（長野県のみ）、成は工事成績等簡易型（同）、実は技術者実績等簡易型（同）。

19年 12月 25日
建設通信新聞